

SSH 活動に関する生徒・保護者・教職員の意識調査

平成25年1月 SSH 活動に関する意識調査を生徒・保護者の方・教員に対して実施しました。

「強く思う」「思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の4つの選択肢から選択してもらいました。

1 生徒アンケートの分析

以下、課題研究生は「課題研究Ⅰ *CHAOS*混沌」「課題研究Ⅱ *COSMOS*宇宙・調和」選択生です。

アンケート結果の内、「強く思う」「思う」の肯定的回答の割合（％）をまとめました。

（１）SSH認知度について

SSHの認知度は85％でした。

また、本校がSSHに指定されていることが志望動機になった生徒は28％でした。

SSHに指定される以前から本校を志望する生徒は多いのですが、SSHに指定されていることが志望動機の一つになっているようです。

（２）研究者としての心構えや研究に対する姿勢を学ぶことができたか

生徒全体78％、課題研究生94％で、とても高い数値を示した。

（３）教科の学力がついたか

数学の学力に関して 生徒全体59％、課題研究生62％で課題研究生の方が高い。

理科の学力に関して 生徒全体49％、課題研究生57％で課題研究生の方が高い。

英語の学力に関して 生徒全体56％、課題研究生49％で生徒全体の方が高い。

学際的能力に関して 生徒全体57％であった。

教科担当者は、考査結果などから、学力がついてきていると判断しているので、生徒にもっと自信をつけさせることが必要であると考えられる。

（４）社会のために役立つという使命感・倫理観が強くなってきたか

生徒全体55％、課題研究生70％であり、課題研究生が高い。

（５）理系の進路希望をする生徒の割合

生徒全体55％、課題研究生80％であり、課題研究生が高い。

2 保護者アンケートの結果

「課題研究Ⅰ CHAOS 混沌」「課題研究Ⅱ COSMOS 宇宙・調和」選択生徒の保護者対象に実施アンケート結果の内、「強く思う」「思う」の肯定的回答の合計が多かったものをあげます。

(1) 本校事業のうち生徒にとってプラスになっていると考える事業

- ① SSH研修 ② 「課題研究Ⅰ CHAOS混沌」「課題研究Ⅱ COSMOS宇宙・調和」の授業
- ③ 海外サイエンスツアー ④ 東京方面サイエンス・キャンパスツアー ⑤ 大学研究室訪問
- ⑥ 大学研究室訪問研修のポスター発表 ⑦ 課題研究中間発表会
- ⑧ 大阪大学医学部一日体験入学 ⑨ 大阪大学工学部一日体験入学 ⑩ 京都大学一日体験入学
- ⑪ 科学講演会 ⑫ 医療系進学希望者インターンシップ ⑬ 三丘セミナー
- ⑭ 英語による科学の講義

(2) SSHの取組が、次のような観点で生徒のプラスになっている

- ① 科学技術に対する興味関心や学習意欲を高めることにつながっている。
- ② 進路に対する夢や志を育み、将来の科学者としての使命感を培うことにつながっている。
- ③ 情報収集能力・課題発見能力・論理的思考力・問題解決能力・創造性・独創性などの科学的探究能力の育成につながっている。
- ④ 国際感覚や英語による会話能力を育成することができ、国際社会に貢献できる人材の育成につながっている。

3 教員アンケートの結果

アンケート結果の内、「強く思う」「思う」の肯定的回答の合計が多かったものをあげます。

(1) 本校の事業のうち、生徒にとってプラスになっていると考える事業

- ① SSH研修 ② 「課題研究Ⅰ CHAOS混沌」「課題研究Ⅱ COSMOS宇宙・調和」の授業
- ③ 海外サイエンスツアー ④ 東京方面サイエンス・キャンパスツアー ⑤ 大学研究室訪問
- ⑥ 大学研究室訪問研修のポスター発表 ⑦ 課題研究中間発表会
- ⑧ 大阪府立狭山池博物館見学 ⑨ 大阪府生徒研究発表会への参加
- ⑩ 大阪大学医学部一日体験入学 ⑪ 大阪大学工学部一日体験入学 ⑫ 京都大学一日体験入学
- ⑬ 科学講演会 ⑭ 医療系進学希望者インターンシップ ⑮ 三丘セミナー
- ⑯ 英語による科学の講義

(2) SSHの取組が、次のような観点で生徒のプラスになっている

- ① 科学技術に対する興味関心や学習意欲を高めることにつながっている。
- ② 進路に対する夢や志を育み、将来の科学者としての使命感を培うことにつながっている。
- ③ 情報収集能力・課題発見能力・論理的思考力・問題解決能力・創造性・独創性などの科学的探究能力の育成につながっている。
- ④ 本校の特色づくりにプラスになっている。